

瑠璃光寺に「アマビエ」奉納

コロナの早期終息を祈る



コロナ終息を願う絵を紹介する
喜多村住職

糸島市志摩稲留の火山瑠璃光寺(喜多村龍介住職)

で8日、月例の祭典があり、信者の孫2人が描いた、疫病退散の御利益があると考えられる妖怪「アマビエ」の絵が奉納され、境内横の管理

所に掲示した。

描いた2人は、総代の吉村芳則さん(70)の孫で福岡市西区草場に住む北崎中1年の箕田徳斗さんと、北崎小5年の箕田真里花さん。喜多村住職は「瑠璃光

寺が疫病を治す寺でもあるので、アマビエの絵に触れ、観光で火山を訪れる若者にも寺に関心を持ってもらいたい」と期待した。

コロナ禍の中、参拝の呼び掛けを自粛しているため、少数での祭典となり、恒例の般若経のお清めや、大念珠繰りは感染防止の観点から行われなかったが、信者たちはアマビエの絵の掲示にコロナ終息の願いを託していた。